

伝統文化子ども教室 ～和装・礼法子ども教室の感想～

「自国への誇りを持っていますか」の質問に対して日本の中学生の24%が、持っていると答えました。この調査結果の低さに驚かされます。自分の生まれた国に価値を見出せない人は、国や人を愛せないだけでなく、生きる目標や目的まで見失ってしまうからです。折角私たちの先祖が築いてきた、日本の伝統的精神文化や大切な人間の生き方、礼法・マナー等、戦後の教育のなかで教えてこなかった結果でしょうか。

そんな折、文化庁委嘱「伝統文化活性化国民協会事業」(伝統文化子ども教室)が各地で開催されました。私共も「狭山市和装・礼法子ども教室実行委員会」をたちあげ、小・中学生を対象に和装・礼法子ども教室を実施してまいりました。

マナーの基本は感謝と尊敬からと、ゆかたの着装を通じて、美しい立居振舞いの基本から、挨拶の仕方、食事の作法、物の受け渡し方、日本の伝統行事など、体験学習をしてまいりました。目を輝かせ熱心に通ってくる子供達の上達ぶりに、将来の道が楽しみな時間でありました。



うるおいきもの文化普及会

狭山市和装礼法子ども教室実行委員会

代表 川口 芳子

----- さやま・文化の息吹 -----

多彩な作品群「狭山市民美術展」を終えて

狭山市民美術協会 副会長 角川 照江

第26回目を迎えた「狭山市民美術展・生涯学習展」を10月22・23日に中央公民館で開催しました。会員と一般公募の作品約100点、および毎回市内の特養ホーム等でリハビリの一環として作品作りをしているので、その発表の場の特別コーナーを設けています。今年は「つつじの園」の入所者と、そこへ通うサービスの皆さん50名余りの方々の力作が華やかに展示されました。

市長賞には、ちぎり絵の菊地正子さん、美術協会会長賞に書道の金山法子さんをはじめ、絵画・写真・文化刺繍・銀粘土の作品が奨励賞に選ばれ、表彰式で賞状を授与されました。作品の分野は多彩で、上記の他に陶芸、テープ工芸、手芸、クレー・クレー、くるみ絵、鎌倉彫、ひょうたん加工、諸工芸など多岐にわたっています。



毎年新しい分野が出品され、高度な技術を習得された作品が多いので、お互い創作活動に刺激を与えられています。また当会では、せっかく仕上げた作品を発表する機会がない方々にも広く発表の機会を提供しているので、来年も多数の市民の出品を期待しています。今後とも、是非多くの方々に見に来ていただきたいと思います。

平成17年度 賛助会員の紹介(5)

(有)土金

文具・教材・OA用品 取り揃えてお待ちしております
狭山市南入曽 459 - 9 : 2959 - 3036

(有)奥富倉庫

狭山市青柳 287 : 2954 - 2100

アルス株式会社

技術より意志 より速く 正確に より美しく
狭山市東三ツ木 288-30 : 2958 - 9907

(株)コーセー狭山事業所

狭山市富士見 2 - 20 - 1 : 2957 - 2131